



ICU
ECMO、生体情報モニタ、集中治療支援システムなど多数の医療機器が24時間365日稼働



手術室
ECMO、生体情報モニタ、手術支援システムなど多数の医療機器が24時間365日稼働



MRI
救急患者、院内急変患者に備え24時間365日稼働
エネルギー消費大

地域医療最後の砦として高度急性期医療を担っており、CT・MRI・リニアックといった放射線機器、高機能ICU（29床）、手術室（21室）などが24時間体制で稼働しており、非常に多くのエネルギーを消費する状況。
また、これらの維持には相当の面積が必要であり、病床数のみでは実態を反映できない可能性がある。

高度急性期医療を維持するための特別な支援が必要